

Cisco Business Dashboard 2.8.0でのデバイス機能の検索

目的

この記事では、Cisco Business Dashboardバージョン2.8.0のデバイス検索機能について説明します。

適用可能なデバイス | [Software Version]

Cisco Businessダッシュボード | 2.8.0

はじめに

Cisco Business Dashboardは、シスコのビジネス機器を導入および維持するためのネットワーク管理ツールです。CBD 2.8.0の新機能は、サポートされているスイッチ、アクセスポイント、およびメッシュエクステンダでデバイスの検索機能をトリガーする機能です。これには、次のような特徴があります。

- Sx250/350/550スイッチ
- CBS 220/250/350スイッチ
- Catalyst 1200/1300 スイッチ
- CBWアクセスポイントおよびメッシュエクステンダ

デバイスの検索機能を使用すると、ターゲット・デバイスのLEDが60秒間点滅し、デバイス・グループから特定のデバイスを特定できます。

デバイス機能の特定

手順 1

ユーザ名とパスワードを使用して、Cisco Business Dashboardにログインします。

Login

User Name*

admin

1

Password*

●●●●●●●●

2

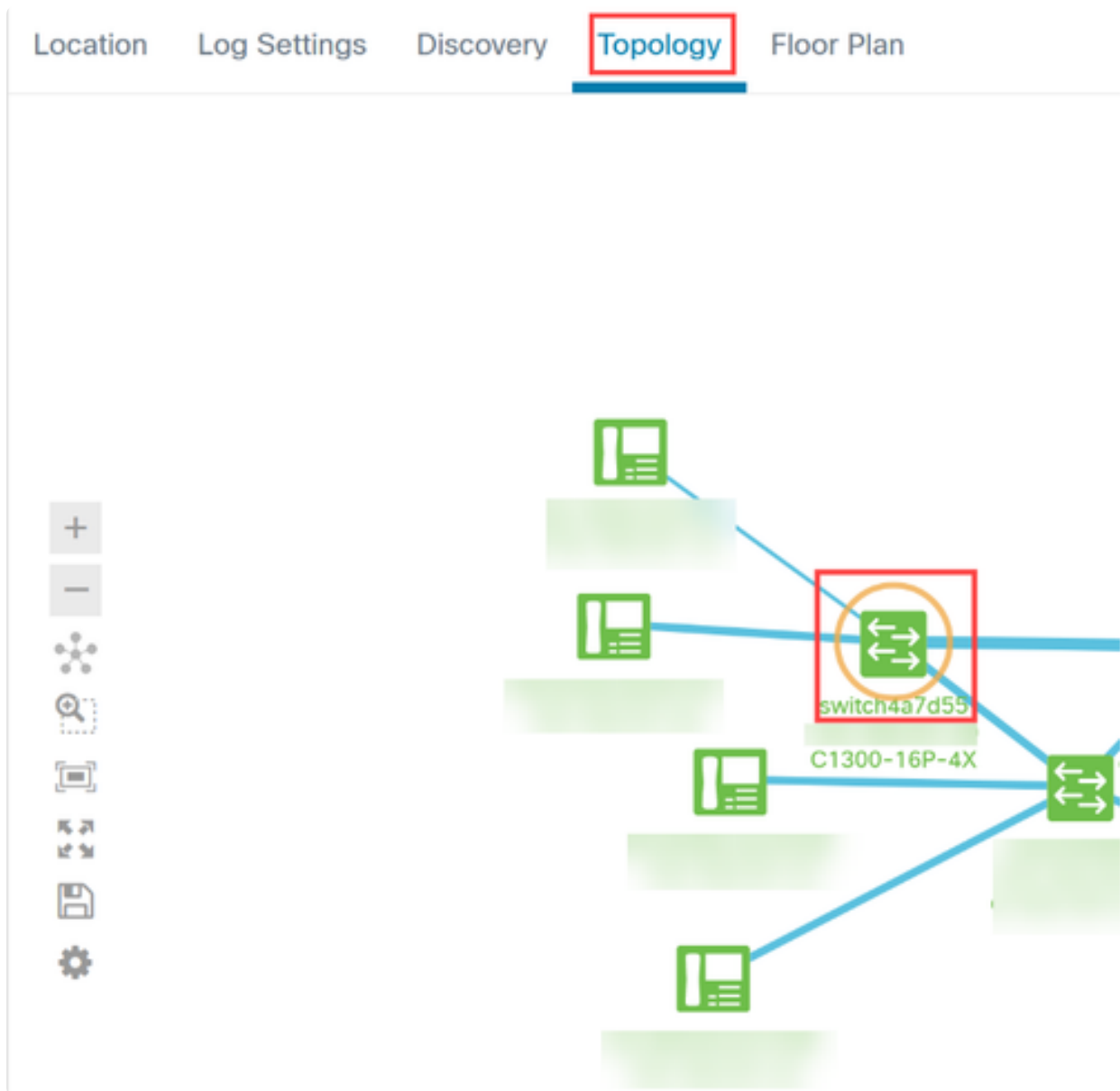


Login

3

手順 2

Topologyの下で、デバイスをクリックして選択します。この例では、Catalyst 1300スイッチが選択されています。



手順 3

開いたパネルでActionsタブをクリックします。

The panel displays the following information for the selected device:

- Device icon: A green square with white double-headed arrows.
- Device name: **switch4a7d55**
- IP address: 192.168.251.20
- Manufacturer logo: Cisco.
- Global icon: A globe.
- Button: **Details** with a right-pointing arrow.
- Tab bar: **Overview** and **Actions** (highlighted with a red box).

手順 4

リストからLocate Deviceオプションをクリックします。



Upgrade From Local



Backup Configuration



Restore Configuration



Reboot



Save Running Configuration



Show Tech



Locate Device

手順 5

ポップアップ画面でOKをクリックして確定します。



手順 6

スイッチ上のLEDは60秒間点滅し、ネットワーク内のデバイスグループからデバイスを識別するのに役立ちます。デバイスが正常に検出されると、ユーザインターフェイスにも通知が表示されます。



Located device(s) successfully



Online

Action ▼

Type ?

Probe Managed

Description

N/A

Organization

結論

これで、CBDバージョン2.8.0のデバイス検索機能と、ネットワークでのデバイス検索機能の使用方法について、すべて理解できました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。